

東洋システム(安佐、前部から後部にかけ)

(の九月十六日以前に完

田勝彦社長一本社・岐二区画以上に区分の上

工した新トンネル鶏舎に

岸田名務原市金剛団地これに対応する温度セン

対しては特許権を主張し

九七一四)は、約十年

サーと入気口調整装置を

前から当時、トンネル設け、区画ごとに設定温

換気の欠点であった冬度をターゲットとする制御を行なう。

前記を特徴とする新ト

は、同特許を有償公開す

期内温度の前後格差問題の解消に取り組み、一九九六年に次

トンネル換気を完成さ

せた。

東洋システム(安佐、前記を特徴とする新ト

は、同特許を有償公開す

ンネル換気が九月十七日

る。

トネル換気を完成させた。

①入気方式を夏、冬

業界に有償公開の方針

で切り替える。すなわち、夏期は鶏舎前部か五九八二二号)された期温度格差対策としては

ら後部に大量の空氣をため、同社では、新トンネル換気を分配せず、静止

流して効率的な夏場対策として、当時あつたト

ネル換気が近年、同社以外の設備会社でも利用さ

れていた現状を踏まえ、ソフードでコントロールする方式

ノネル換気)、冬期は

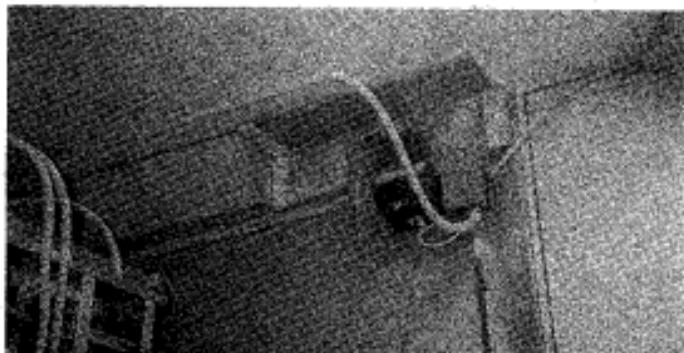
鶏舎前部の入気口を開く

じる。

②鶏舎側壁上部また方針で対応していく

は天井に設けた入気口としている。

成立した入気口を分割寒さが厳しい北海道の育



冬期、新トンネル換気区分コントロールを行なう入気口駆動装置。停電時舎内が一定温度以上になると自動開放し、停電が回復すると元の位置に戻るように改良が進んでいる